

2025 年度 卒業研究 案内

国際都市計画・地域計画研究室（瀬田・蕭研究室）【定員：5名】

[Website] <http://www.urban.t.u-tokyo.ac.jp/>

【指導教員】

瀬田 史彦（准教授 国土・広域計画、地域開発、グローバル都市論）

蕭 耕偉郎（准教授 国際都市空間論、ジェントリフィケーション論、データサイエンス型都市空間論）

【研究室の特徴と研究テーマ】

当研究室は、学生の自主性を重んじつつ、2名の教員が親身になって指導します。また研究室に所属する大学院生・留学生、および多くの社会人大学院生とも幅広く議論できる環境があります。

研究テーマは、日本や海外の国土・都市政策の実態調査や定量的評価を基に政策提言を行うマクロレベルの研究だけでなく、都市空間の特徴や課題を定量的・定性的な手法から探求するミクロレベルの研究も行います。

学生には、卒業論文の成果を国内外の学会に発表することを強く推奨しています。また学術だけでなく、実践において、国内外の様々な都市課題の緩和・解消に貢献できる知識と技術の習得をサポートします。

【教員の研究テーマ】

指導にあたる教員の現在の主な研究テーマは次の通りです。研究テーマを考える上で参考としてください。

瀬田 史彦

- ・国土・広域・都市計画の制度論と実態分析
 - － 国土・広域・都市計画と広域連携の制度論、圏域構造と産業立地の定量的研究、イノベーションの研究
- ・人口減少局面のまちづくり
 - － 地方創生政策、関係人口、公共施設の統廃合・再編、市街地の集約化、PPP（公民連携）
- ・都市計画・都市開発分野の国際比較・国際協力
 - － アジア・欧州諸国など比較都市計画制度論、日本の都市計画技術の海外展開（土地区画整理、TOD等）

蕭 耕偉郎

- ・グローバル都市論、アジア都市空間論
 - － アジア国際大都市の空間変容、三大都市圏への人口集中、台湾・タイ・インドネシア・インド都市研究
- ・ジェントリフィケーション論、参加型まちづくり
 - － 観光地化、クリエイティブ産業とジェントリフィケーション、住民参加による住環境改善
- ・データサイエンス型都市空間論
 - － 人流ビッグデータによる都市空間動態分析、アクセシビリティ評価、グリーンインフラの時空間解析

【国際都市計画・地域計画研究室・説明会予定日時】

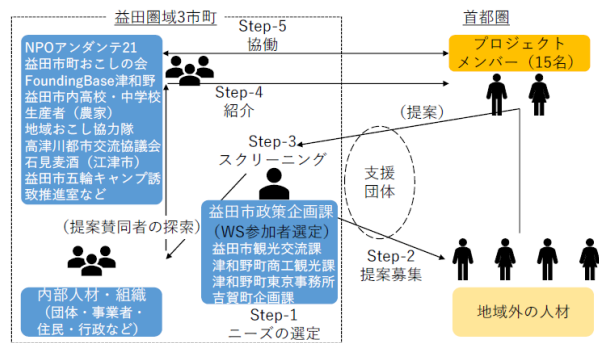
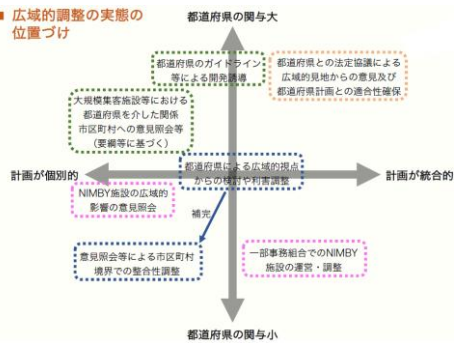
- 1回目 2025年4月7日（月）12時20分ごろから
- 2回目 2025年4月10日（木）12時20分ごろから
- 3回目 2025年4月15日（火）12時20分ごろから

※いずれも工学部14号館9階911号室で、対面で行いますが、オンラインをご希望の方は、以下のメールアドレスにてご連絡頂ければハイブリッドで開催します。また、その場で食事をして頂いても結構です。

お問い合わせ：瀬田 seta@urban.t.u-tokyo.ac.jp 蕭 shokojiro@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

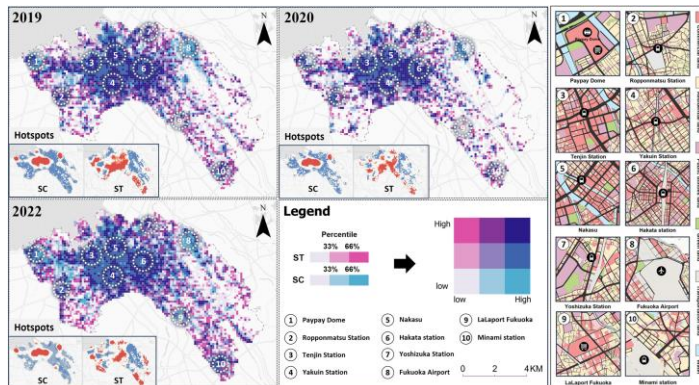
★★取り組んでいる研究テーマのイメージと過去の卒論題目一覧

■ 広域的調整の実態の位置づけ

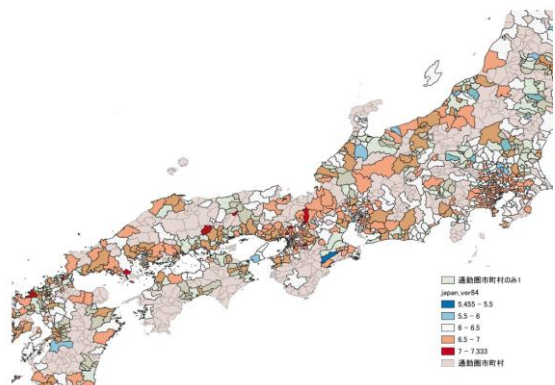


(左) 都市計画法における広域的調整手法の分類

(右) 地域オープンイノベーションの検証(益田圏域)



(左) 人流と土地利用データを組み合わせた福岡市中心部の賑わい評価



(右) 都市圏・市町村の幸福度分析

2024 年度

- ・勝屋 美怜 「日本における都市の階層性からみる主観的幸福度及び生活満足度-地域幸福度(Well-Being)指標における主観の評価を用いて-」
- ・築比地 創 「東京都市圏における大規模物流施設の立地変遷:事業者・自治体の視点に基づいた立地要件と実態との比較」
- ・永井 佑季 「温泉街における回遊性指標の構築と人流データを用いた検証」
- ・山村 優太 「現代都市における「公共空間」の公共性再考 ~『間にある都市』を手がかりとした理論的考察 ~」

2023 年度

- ・大河内 拓 「東京都山谷地域の変化と受容機能の維持についての研究:簡易宿泊施設の変化と支援組織の活動に着目して」
- ・太田 聖那 「地方中枢都市におけるスタートアップ企業の実態と立地特性についての研究:仙台市の事例研究」
- ・宮本 海晟 「住工混在地域における対策の変容と多様化に関する研究」
- ・渡辺 啓斗 「小規模自治体におけるバイオマスエネルギー活用の現状と未活用地域への普及拡大に向けた展望」

2022 年度

- ・榎原 康己 「地域鉄道の維持のためのガバナンスーJR 姫新線におけるケーススタディを通じてー」
- ・山田 智貴 「地方分権改革を踏まえた都市計画の広域的調整の実態と課題に関する研究-都道府県の関与に着目して-」

2021 年度

- ・山本 航平 「地方自治体における創造都市政策の比較研究ー政策目的と内発性に着目してー」
- ・篠原 周太郎 「地方都市における図書館立地の実態と課題:中心市街地における施設複合化を景気とした集合知の拠点としての可能性」
- ・豊田 哲平 「木造木質建築の拡大可能性の検討:中・大規模建築物の設計者の意図に注目して」
- ・古川 翔 「アウトドアスポーツツーリズムの振興に関する研究ー推進組織としての地域 SC、DMO の機能に注目してー」
- ・山口 実優 「知覚的指標を踏まえた大都市主要駅の地下通路空間の魅力向上に関する考察」

2020 年度以前(抜粋)

- ・川本 菜央 「水戸市における場所への愛着形成と中心性の認識構造に関する研究ー中心市街地活性化の観点からー」
- ・古本 美帆 「スポーツまちづくり論:自治体の取り組み実態と課題」
- ・高松 未来 「屋台の立地規制が移民の就労機会に与える影響ーバンコクにおける屋台のケーススタディを通じてー」
- ・新田見 優輝 「縮小都市の再生施策に関する研究ードイツ・ルール地方を事例としてー」
- ・田 瀚 「中国大都市群の発展プロセスの研究ー京津冀都市群と長江デルタ都市群を事例としてー」
- ・清田 万李子 「街とつながる場としての広場の意義についての研究」
- ・桜井 貴央 「雇用創出事業における自治体間連携の実態に関する研究-定住自立圏構想に着目して-」
- ・那須 雄太 「オートバイ都市ホーチミンシティの将来都市構造に関する研究」
- ・赤川 彰 「TOD の観点からみたジャカルタ BRT 駅周辺開発の評価」
- ・北川 峻 「ティアラ SEZ 開発にみる日本の地域開発支援の変容に関する研究」

※過去の卒論、修士、博士論文のテーマは一覧、研究室 HP をご参照ください。: <https://www.urban.t.u-tokyo.ac.jp/>